

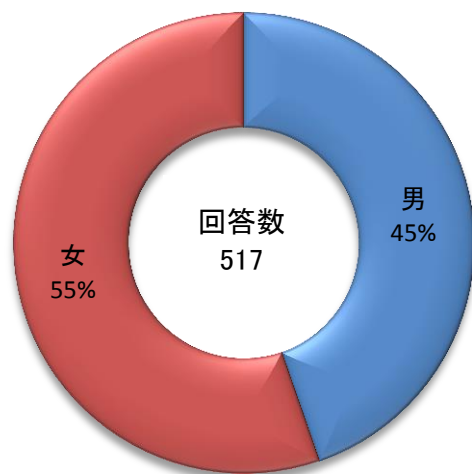
美浜町地域づくり拠点化整備に関するアンケート結果

実施期間 : 平成29年1月5日～20日

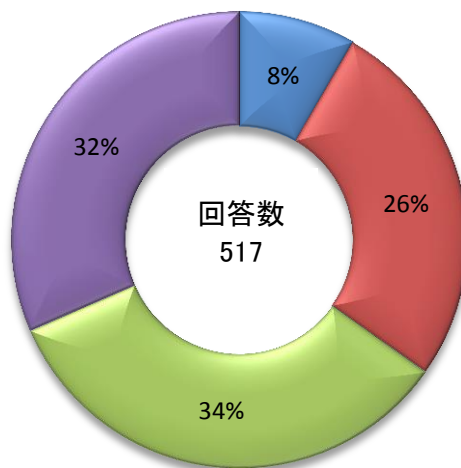
対象者 : 無作為に抽出した18歳以上の町民1,000人

回答数 : 517人 (51.7%)

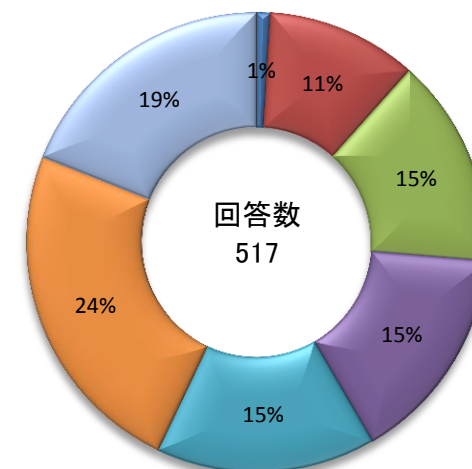
性別



地域



年齢



■ 北西郷 ■ 南西郷 ■ 耳 ■ 東

■ 10歳代

■ 20歳代

■ 30歳代

■ 40歳代

■ 50歳代

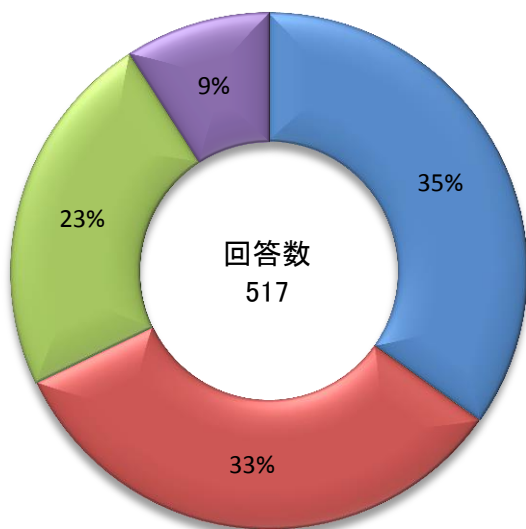
■ 60歳代

■ 70歳以上

美浜町地域づくり拠点化整備に関するアンケート結果

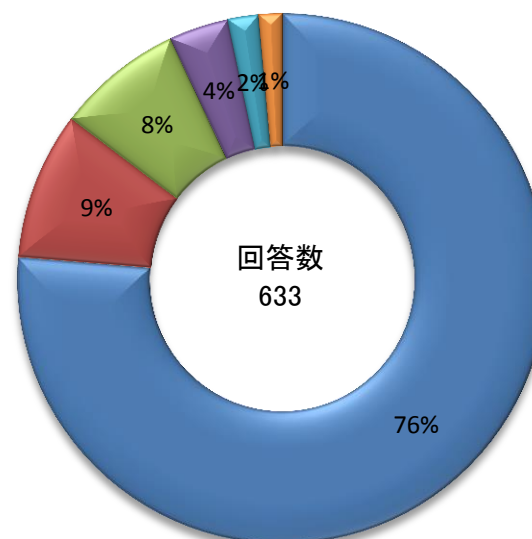
- 約8割の方が、一度は町外で生活した経験がある。
- 公共交通機関を利用している人は1割程度で、ほとんどの方が車移動である。

居住歴



- 美浜町在住者
- 他市町に在住していた経験がある美浜町在住者
- 他市町からの転入者
- 県外からの転入者

交通手段

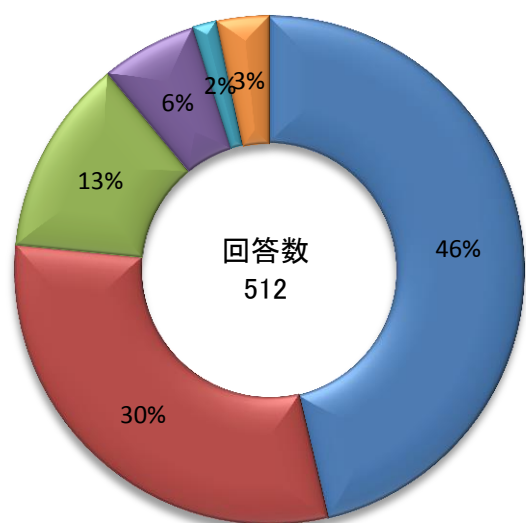


- 自家用車
- 公共交通機関(電車・バス)
- 自転車や徒歩
- 会社などが手配する通勤バス
- オートバイ(原付含む)
- その他

美浜町地域づくり拠点化整備に関するアンケート結果

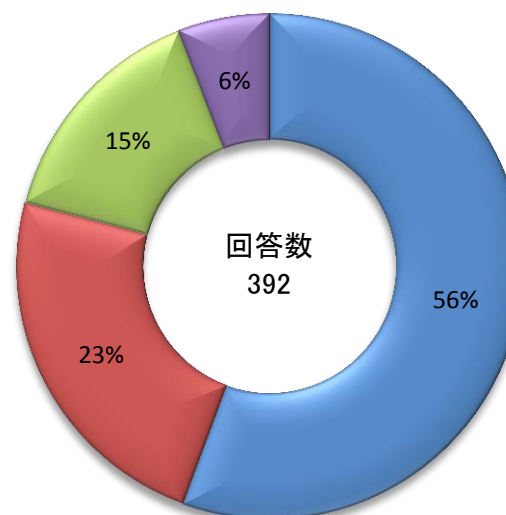
- 約8割の方は「まちなのにぎわい拠点や地域住民の交流拠点の整備」が必要だと感じている
- その内、半数以上の方が「街の中心部付近」が拠点としてふさわしいと回答している。

まちなのにぎわい拠点や地域住民の交流拠点の整備について



■ 必要	237
■ どちらかというが必要	155
■ どちらともいえない	64
■ どちらかというに必要ない	31
■ 必要ない	8
■ その他	17

まちなのにぎわい拠点や地域住民の交流拠点としてふさわしい場所とは

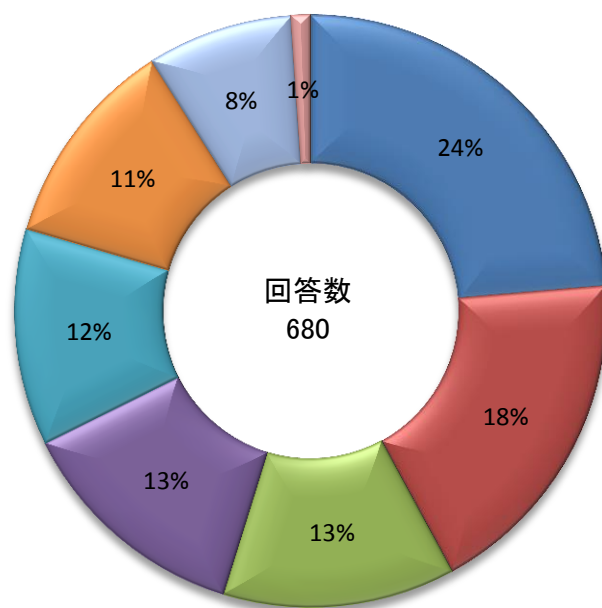


■ みんなが集える街の中心部付近 (ex.美浜駅周辺や役場付近)	218
■ 観光に配慮し景観を重視したエリア (ex.久々子湖畔や若狭湾沿い)	92
■ 高速道路のI.Cや国道からのアクセスを重視したエリア (ex.若狭美浜I.C付近)	59
■ その他	23

美浜町地域づくり拠点化整備に関するアンケート結果

- 交通利便性と買い物を重視した施設を望む声が多い。
- それ以外は満遍なく意見があった。
- その他、まちづくりに関する数多くの意見が寄せられた。

まちのにぎわい拠点や地域住民の交流拠点を整備するには、どういった施設であることが望ましいか



■ 町民の買い物の場のひとつとなるような「買い物」	158
■ J R や国道とのアクセスや中高生などの利用を考慮した「交通利便性」	125
■ 乳幼児を持つ親世代や高齢者に配慮した「福祉機能」	89
■ 公園やイベント広場などを併設した「イベント拠点」	86
■ 県内外に美浜町をアピールする「情報発信」	80
■ 交流人口の拡大を目指す「観光」	79
■ 災害時の拠点となる「防災機能」	54
■ その他	9

美浜町地域づくり拠点化整備に関するアンケート結果

まちづくりに関する代表的な意見(自由回答欄)

- ・既存の施設(なびあす・はあとぴあ等)を活用すべき。
- ・にぎわい拠点や交流拠点を整備したとしても、一部の人たちしか利用しないのではないか。
- ・ハード面よりもソフト面の整備が先ではないか。
- ・行政機関・病院・銀行など生活面で重要となる施設の集約化を検討すべき。
- ・役場・なびあす・はあとぴあ等既存の施設が集約している付近を整備し、人口を誘導してはどうか。
- ・美浜駅の再開発に力を入れてほしい。
- ・民間企業の力をもっと利用すべき。
- ・老若男女問わず利用できる施設があってほしい。
- ・子供たちが楽しめる遊び場をつくってほしい。
- ・高齢化が進む中、年寄りが生活しやすいまちづくりを望む。
- ・道の駅や直売所などで本当に交流拠点となるのか。
- ・若狭美浜IC付近のエリアで誘客を狙える拠点がおもしろいと思う。